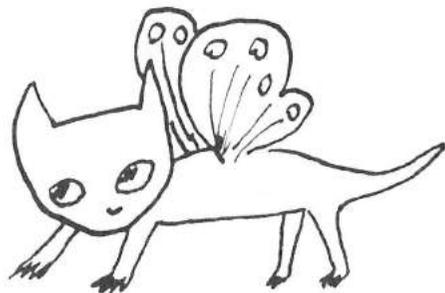


第13回「猫ねこ展覧会2016」

～走る・飛ぶ・じゃれる・寝る・猫達の楽園～



蝶ねこ コノキ・ミクオ

2016年
4月15日(金)
～
6月26日(日)
金・土・日・祝日のみの開催

「猫ねこ展覧会」作家さんによる体験教室

- 5/1 ねこ絵葉書を描いてみよう! 500円 増渕 摂子
- 5/3 猫実珈琲店 出張いたします 美味しい珈琲を庭園でどうぞ 有料
- 5/8 銅版画(ドライポイント)でネコを描く体験教室 1,000円 木寺版画工房
- 5/15 うちわに墨でネコを描こう 1,000円 永田 紅蘭
- 5/21 ビーアンビジャス「フレンズ・カフェ」open. ココナッツカレー・柚子そば 有料
- 5/22 のめらにゃん斎「猫の紙芝居」無料(当日特設グッズ販売有ります)
- 5/28 ネコタマゴの絵付け教室 1,000円 くらい ゆき・西森 ローラ
- 5/29 山口マオの木版画ワークショップ 3,500円(定員10名)(作品&グッズ販売有り)
- 6/5 うちの子グッズを作ろう! シールやバッグに 500円～ はなざわ
- 6/11 ねこじゃらしを作って美術館の猫と遊ぼう! 500円 内田 園子
- 6/12 団扇に猫を描く教室&ガラス絵教室 1,000円～ 永田 紅蘭・山本 昌宏
- 6/19 ビーアンビジャス「フレンズ・カフェ」open. ココナッツカレー・柚子そば 有料
- 6/26 クロージング・パーティー&授賞式(15:00から) 作家さん集合!



熱唱 大木貞夫



フーちゃん 郡司恵子



ガガ姉さん 永田紅蘭



虎之助と茶太郎 花澤三津子



薫風に誘われて

個性的な美術館・博物館



松山庭園美術館

〒289-2152 千葉県匝瑳市松山630
TEL.0479-79-0091
<http://matuyamaartmuseum.web.fc2.com>

「さくら、あじさい、紅葉……」四季折々の自然が美しい美術館。猫たちがのんびりくつろいでいる美術館。細い山道をたどりつつ、ほんとうにこんなところにあるのかしらと不安になってくる美術館。

そんな噂を耳にして、いつか行ってみたいと思っていた「松山庭園美術館」。

行ってみました。

手入れの行き届いた美しい庭、出迎えてくれる美しい猫たち――。

想像以上のすばらしさです。

庭園内には野外彫刻がいくつも。そして地域の文化交流の拠点となる企画展示館、長屋門、茶室、見晴らし亭。

たそがれどき、見晴らし亭に腰を下ろし、眼下の青田を眺めながら美酒と少しの肴。傍らに猫がくつろいでいて――。

そんな幸せな光景を夢見ます。

本館は此木三紅大(コノキ・ミクオ)氏の作品と名画コレクション、琴のコレクション。茶道具の収蔵品も数多く茶道の心得のない者でも、見の価値ありと思

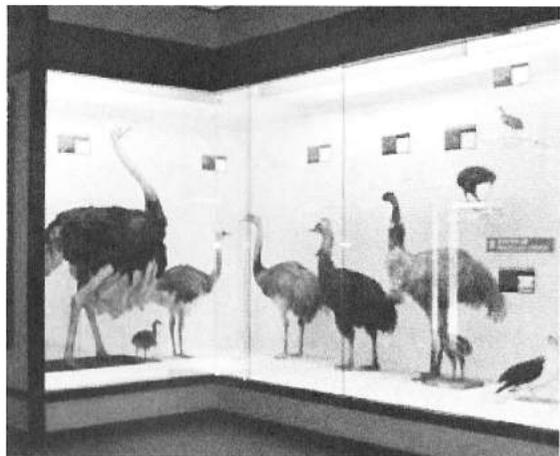


える品々が――。

「へ、のんこうを展示していらっやいますか」などと問いわせ、それを目当てに遠くから訪れる人もいるとか。

企画展も開いていて、6月26日までの金・土・日・祝日の10時から17時まで第13回「猫ねこ展覧会2016」を開催中。全国から応募した170人の猫好き美術家さんの絵画、彫刻、工芸、写真など300点を展示。体験教室やオリジナル猫グッズの販売もあります。

入館料 大人800円、小中学生400円。



3階の展示室 世界の鳥コーナー



我孫子市鳥の博物館



薫風に誘われて

個性的な美術館・博物館

我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 我孫子市高野山234-3

TEL 04-7185-2212

<http://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/>



第75回企画展

「フクロウさんちの子育て日記」

6月26日(日)まで開催中

「我孫子市鳥の博物館」は日本国内唯一の鳥専門の博物館です。

この珍しい博物館で6月26日(日)まで「フクロウさんちの子育て日記」を開催しています。

丸いアタマ、丸い大きな目が愛くるしいフクロウですが、実際に野外で見る機会はほとんどありません。

周辺の自然も展示の一部と

考えるフィールドミュージアム構想の一環として、地域の自然への理解を深めるために同館は我孫子市の森にフクロウの巣箱をかけて子育てを観察してきました。

そうして分かったフクロウの生態や食性について紹介し

ています。

フクロウが食べているもの——。それはヤモリ、ヒヨドリ、ドバト……。意外に大きな生きものも捕食しているのに驚かされます。

そしてクルリと回る首。丸い頭の正面に目がついているので後方が見えるように約270度回るのだそうです。

人間の首は何度くらい回るのかなあ。

人間と鳥の共存

手賀沼がすぐ前にある同館では手賀沼の鳥たちの生態、そして世界の鳥、鳥の歴史と生活をテーマにしています。2階の手賀沼と自然の鳥たちのジオラマ(生体展示)は臨場感あふれるもの。

・休館日

月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始、館内整理日

・アクセス

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています。

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台南口バス停より、我孫子駅行きで「鳥の博物館」下車

そしてこの館の最大のテーマは「人と鳥の共存」。野生では見ることのできなくなった日本のトキの剥製が共存の大切さを語りかけています。

いつまでも見ていたい

世界の鳥コーナー

3階の展示室「世界の鳥コーナー」のガラスケースの中にはダチョウの仲間からスズメの仲間まで、分類順に世界の鳥を展示してあります。

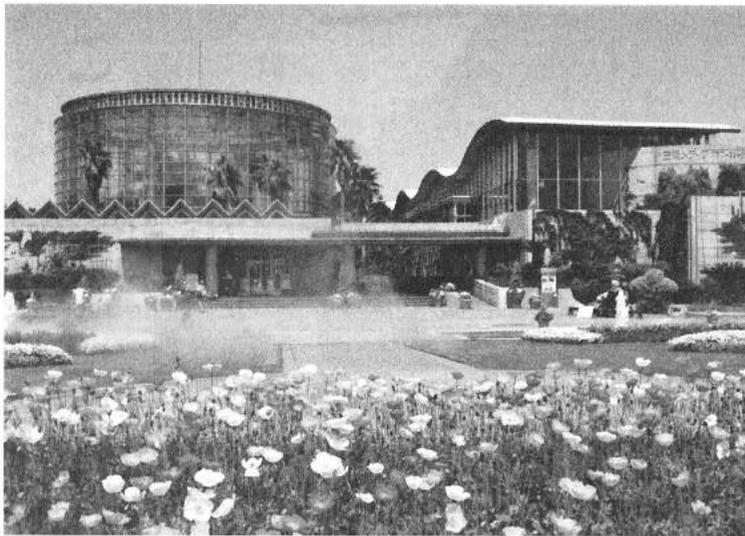
1科1種を目標に収集した標本約270点とありますが、それは圧巻。小さきまぎま、色もさまざま、そして何より驚きなのは、普段、近くでじっくり見ることでできない鳥たちの姿かたち。の美しさ。この鳥たちの機能美には感嘆、立ち尽くしていました。

・入館料

一般300円 高校・大学生200円

・開館 午前9時30分〜午後4時30分

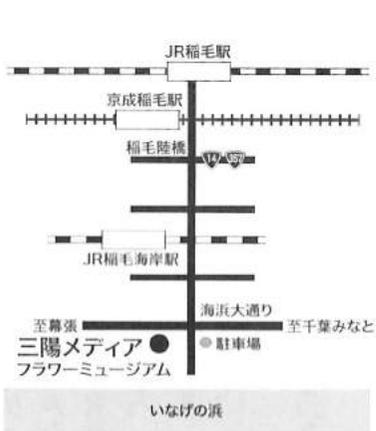




入館料
大人 300 円
小・中学生 150 円
休館日
毎週月曜日
(月曜日が休日の場合は
その翌日休館) および
年末年始



フラワーカレッジ
花の育て方、飾り方、楽しみ方を学ぶことのできる講座を数多く開催しています。詳細はホームページをご覧ください。
また、今年開館20周年を迎えたこの美術館では記念の特別企画を開催しています。



20周年特別企画
(平成29年3月末まで)
*毎月20日は、入館料無料。
*毎月20日に、「花の里視プロジェクト」*展示後の花鉢をプレゼント。
*千葉市内・市外問わず65歳以上の方、証明書提示で入館料無料。
*毎日16時以降は、入館料無料。
*夏季(7/16~8/31)期間、冬季(12/27~3/31)期間は、終日入館料無料。
*20年のあゆみ展開催。(7/12~9/4)



はなちゃん

薫風に誘われて

個性的な美術館・博物館

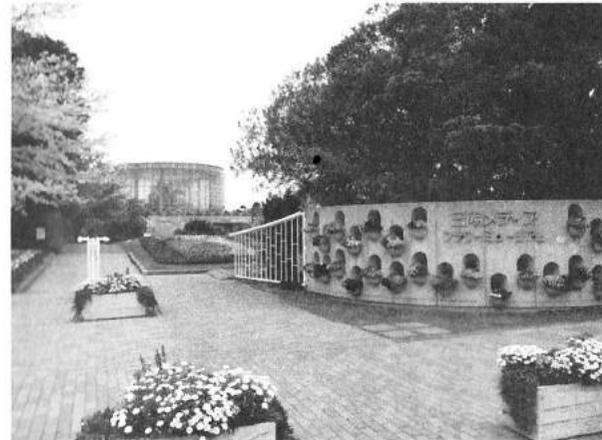
三陽メディア フラワーミュージアム

(千葉市花の美術館)

〒261-0003 千葉市美浜区高浜7-2-4

TEL 043-277-8776

<http://cga.or.jp/flower/>



「三陽メディアフラワーミュージアム」(千葉市花の美術館)には、約1600種4万8000株の植物が植えられ、一年中、花を楽しむことができます。花の門を入ると色とりどりの花々が、出迎えてくれました。
アトリウムから温室、中庭、後庭とたどれば、それぞれ表情の異なった花や、

樹木に出会えます。
また、季節ごとにイベントも開催されています。
スプリングフェスティバル 5月8日まで
ローズフェア 5月17日~6月5日
ラベンダーデー 6月26日
アトリウムテーマリシャピッシュガーデン(フランス田舎町にあがれて) 6月5日まで
フローラルジュニアイベント 6月7日~7月3日
5月17日から開催のローズフェアでは、バラのことをもっと知りたい方には嬉しいガイドツアーなどもあり、より深く楽しむことができます。
アトリウム入口のみどりの相談コーナーでは「みどりの相談員」が常駐しており、花や緑に関する相談を行っています。併設されているレストランでは、リニューアルされて一周年を迎えた中庭が豊かに育ち、デルフィニュームやオステオスベルナムなど色鮮やかな花々を眺めながら食事が楽しめます。